

## 2019 年度英国現代奴隷法に関する声明

### 1. UACJグループの事業概要

UACJグループは、アルミニウム板製造メーカーであるUACJを中心に、アルミニウムを原料とした様々な製品をグローバルに展開しています。当社グループは、73社で構成され、総従業員数は約10,000名です(2020年3月31日現在)。

当社グループの事業については、下記をご参照ください。

<https://www.UACJ.co.jp/company/profile/index.htm>

当社グループの企業理念及び行動指針は、下記をご参照ください。

<https://www.UACJ.co.jp/company/management/policy.htm> (企業理念)

<https://www.UACJ.co.jp/company/management/UACJway.htm> (行動指針: UACJウェイ)

### 2. 強制労働及び人身取引防止に関する方針

UACJグループは、企業理念を実現するために、当社グループの役員及び従業員が遵守すべき事項を定めた「UACJグループ行動規範」において、国際人権章典等の人権に関する国際的な規範や各国・地域の法令を遵守し、事業活動全体において人権尊重に努め、強制労働、人身取引、児童労働等を一切認めないことを規定しています。

### 3. 強制労働及び人身取引防止に関する取り組み

- (1) UACJグループでは、毎年10月から12月にかけて役員・従業員を対象とした行動規範教育を実施し、人権尊重の方針および取り組みについて確認しています。また、サプライチェーンに対しては「CSR調達ガイドライン」を提示し、サプライヤー様に当社グループ同様の取り組みを要請しています。
- (2) UACJグループは、コンプライアンス違反を早期に発見し是正するために、国内グループ各社に内部通報窓口を設置しています。また、2019年には、海外の従業員も利用できるグループ共通の内部通報窓口をUACJに設置し、運用しています。なお、これまで当社グループにおいて英国現代奴隷法に違反する強制労働、人身取引、児童労働等の通報及び相談はありませんでした。
- (3) UACJ及び国内関係会社では、2018年度から労働時間管理に関する年次教育・年次調査を実施しています。年次調査の際には、必要に応じて従業員にヒアリングを実施し、不適切な運用が発見された場合、改善を実施しています。

### 4. 今後の取り組み

- (1) 現状把握の徹底

調査範囲を拡大し、サプライチェーンにおける奴隷労働に関する調査をさらに進めていきます。

(2) 教育

UACJグループは、UACJグループで働く全ての人に、人権尊重に関する教育を継続的に実施していきます。また、サプライチェーンにおける強制労働や人身取引を防止するため、引き続きサプライヤー様に対し、「CSR調達ガイドライン」への協力を要請していきます。

本声明は、2020年11月10日に開催された株式会社UACJのCSR委員会において承認されました。

2020年11月10日

株式会社UACJ

代表取締役社長兼社長執行役員

石原美幸